

令和4年度長崎県保健医療対策協議会がん対策部会
肺がん委員会 議事概要

日 時：令和4年10月19日（水）18：30～20：00

場 所：長崎県庁 3階 311会議室

出席者：芦澤委員長

富田委員、永安委員、長谷川委員、迎委員、宮崎委員（五十音順）

(1) がん検診に係る各目標指標について

資料1により事務局から説明。

未把握率を低くするために、精密検査結果の把握体制を整備すべきとの指摘があった。

精検受診率は死亡率減少にも影響してくるため、目標値90%を達成するために検診後の受診勧奨が重要との意見がだされた。

(2) 事業評価のためのチェックリストについて

資料2により事務局から説明。

未実施となった検診機関別の評価にかかる項目は、今年度より検診機関毎の実施状況を把握できたため、実施に向け前進したとの意見をいただいた。

(3) 長崎県内の肺がん検診の実績について

資料3により事務局から説明。

新型コロナウイルスの影響により、集団検診の中止が相次ぎ、受診者数が例年と比べ減少していることを確認した。

(4) 精密検査実施機関登録制度 比較調査について

資料4により事務局から説明。

登録要件の内容は問題ないが、「内科」「外科」の表記と「呼吸器内科」「呼吸器外科」の表記を合わせるべき等の指摘があった。

(5) 長崎県がん対策推進計画 中間評価について

資料5により事務局から説明。

意見等は無かった。

(6) 「肺がん検診の手引き」にて「読影医の条件」に挙げられている「症例検討会・読影講習会」の実施要項について

資料6-1及び6-2について芦澤委員長より説明。

長崎県が実施している生活習慣病検診等従事者講習会も、読影医の条件に挙げられている症例検討会等に該当することを確認した。